

<写真展：フィリピンの「光」と「影」>



■ 展示概要：

この写真展では運営主体である KAPATID(カパティ=タガログ語で兄弟姉妹の意味：1982 年創立) とかねてから交流があった、フィリピン在住アメリカ人である写真家エド・ガーロック氏の作品を展示してあります。陽気なフィリピン人の精神的な豊かさ、並びに貧困を抱えるフィリピンの辛さを伝える写真を対比し展示することで、少しでもフィリピンの「光」と「影」を感じ取ってもらえればと思います。

■ 運営主体：KAPATID

KAPATID は主に貧困に苦しむフィリピンの人々と人格的交わりを深めながら、彼らに自立に向けての支援及び協力を行う日本にある NGO 団体です。貧しさの中にもありながらも精神的に豊かな生活を送っている人々との人格的出会いを通して、何か私達に出来ることは？という思いが活動の原点となっています。

U R L : <http://www.kapatid.org/>

■ 主催者の声：

私達が 2006 年度のフィリピン体験学習旅行で最も印象を受けた、フィリピンが抱える貧困の「影」、フィリピンが持つ豊かな人間性の「心の豊かさ」という二面性を写真という媒体を通じて感じてほしいです。「心の豊かさ」とは、人と人との関わりの中で最も大切なものであるはずなのに、今の日本人には欠けているような気がします。一緒に「心の豊かさ」というものを考えてみませんか？

■ 写真展詳細：

日 時： 2008 年 1 月 22 日(火)～27 日(日) 午前 10 時～午後 6 時

入 場 料： 無料

場 所： JCII フォトサロン (日本カメラ博物館すぐ隣)

〒102-0082 東京都千代田区一番町 25 番地 JCII ビル (1 階)

半蔵門線半蔵門駅より徒歩 2 分 有楽町線麴町駅より徒歩 8 分



ご質問などあれば下記問い合わせ先まで連絡ください。

■ 問い合わせ：photo@kapatid.org

■ 企画担当：2006 年度スタディーツアー参加者
浜中章弘(慶應義塾大学経済学部 4 年)
小川健大朗(中央大学総合政策学部 2 年)

